

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第3回活力部会 委員意見要旨

No.	項目	発言要旨
1	出産・子育て 女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産や子育ては結婚して子どもが産まれた後の話だが、その前に未婚という問題がある</li> <li>・今の若い子は、家にもってネットゲームをしたりで外に出て行かない、女性も結婚しなくても生活できるし結婚は面倒だと考えている</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の二十歳前後の息子達は、外に遊びに行くが女性の影がなく、男友達と遊ぶ方が楽、女の子と遊ぶのは面倒だしお金ももったいないなどと言う</li> <li>・男女問わず、若い子の中で、安心して頼れる相手が同性になってきている</li> <li>・結婚した後のお金だったり自由を失うというような負担を考えて躊躇しているの、結婚の魅力、楽しさを教えることが大切</li> </ul>
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活の事業は全国でも大分でもやっているが効果がでない</li> <li>・結婚にとらわれないかたちで子どもを持つという選択肢も大分県として考える必要がある</li> <li>・若い人は結婚に魅力を感じないという考えなので、固定概念を捨て、結婚しなくてもいいという出会いを推奨して若い人の自由な考えを応援することも大切</li> </ul>
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚して子どもを産むというプロセスは固定観念に縛られている</li> <li>・女性の参画の話があるが、LGBTなどの人もいる中で男女だけに分けていいのか</li> <li>・子どもを産むことではなくて、同性婚を認めるなど、行政として生きやすい大分県を主導し、生きやすさで人の移住をうながして人口を増やすことも大事</li> <li>・福岡への若い女性の転出は、結婚していない、子どもをもっていないことを周りから言われることへの煩わしさが関係しているのではない</li> </ul>
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡への転出に関しては、転出理由の内訳を調べて分析することや、転出者へのインタビューなどをして福岡の魅力を把握して真似ることも必要</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の活躍は全国的な問題だが、その上で大分県がワースト1位になるものが多い</li> <li>・大分の歴史や文化、風土に基づいている可能性があるの、そうならば長期的な話として教育でそれを変えていくことは非常に大事</li> </ul>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンのグラフの作り方はミスリード、Y軸は0として作成するか、Y軸を0とした全体を示した上で、部分的なグラフを示すべき</li> <li>・女性の登用をしやすい大分県職員の女性雇用の比率は、民間企業の全国平均と比べ、半分以上、原因を分析して民間の参考にすべき</li> </ul>
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の現場は男女の区別をあまりしない、商工業の分野で男女の差があるのかと思う</li> <li>・安心院は、安心院、宇佐、中津、小倉というルートで外に出て行く、出て行った子ども達が戻ってこられる企業があるのかというのが問題</li> <li>・農業は新規就農への受け皿、支援があるが、商工業でももっとそれらが必要ではないか</li> </ul>
9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社で女性社員の比率を増やそうとしているが、増えず10%程度</li> <li>・女性の雇用についてうまくいっている企業の事例を共有、勉強できる機会があればと思う</li> <li>・実態として、力仕事は女性に負担なので、サポートする仕組みが会社でも必要</li> <li>・業態によっては雇用を増やすこと自体が難しいので、女性を雇用することへの行政の支援や政策的なサポートがあるといい</li> </ul>
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造現場では女性が活躍するための重労働の機械化など物理的なバックアップが必要</li> <li>・運送業界などは女性の運転手は増えているが、荷物を運ぶという前後の作業を楽にして運転のみにするという工夫をしている</li> </ul>
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界において、人口が減ることはマーケットとして見てもらえなくなることが問題</li> <li>・福岡に限らず女性が県外に出て、外で学ぶことは背中を押すべきこと</li> <li>・逆に大学などで大分に来ている女性を大分に根付かせる政策が重要</li> <li>・会社で宮崎県からトラックの運転手を雇ったことがあるが、企業が行う県外からの採用に関して補助やサポートがあればいいと思う</li> </ul>

No.	項目	発言要旨
12	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職を指導する先生に職場体験してもらわないと、実情が生徒に伝わらないまま就職することになり離職に繋がる</li> <li>・「帰っておいで作戦」も、先生が県外に出る生徒に、学んだことを地元で活かして欲しいということ言えば効果があると思うので、現場で指導する先生達の教育が必要</li> </ul>
13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保のためには、いかに企業に魅力があるのか、地域に貢献しているのかが大事</li> <li>・森林組合も理念を持ってやっていて、それが浸透すれば募集もしやすいしPRもできる</li> <li>・子育て中の女性もいるが、女性が働きやすい部門に回すことで働き方改革ができる</li> <li>・残業への制限は経営者側や、お金のために残業したい人には困るもの</li> </ul>
14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場の先生は負担が大きいため、企業での研修は難しい</li> <li>・そのため学校現場は、小中高すべてで企業の人を地域で先生として入る取組を行っており、生徒が企業を知る機会になって県内就職にも繋がっている</li> <li>・大分県は良いところがいっぱいあるので、良いところに目を向けて人を呼び込む取組を行って欲しい</li> </ul>
15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てが一段落し、長時間働きたい女性は多いが、扶養手当受給要件の年収130万円がネックで、女性活躍の障害になっている</li> <li>・就業に際し、雇用保険には入りたいが正規雇用を望まない人が増えている、働き方は多様なので働きやすさを正採用に絞らない方がいいのではないかと思う</li> <li>・大分の最低賃金がワースト3、これは他の色々な問題に相関性がある大きな問題</li> </ul>
16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人労働者が必要だと分かっても、受入れ環境整備は、なかなか進まない</li> <li>・たとえば、病院の問診票がすべて日本語だったりなど医療体制への啓蒙も進んでいない</li> <li>・地域住民を含めて外国人受入れへの意識が大切なので、地域住民と外国人との交流の場を増やすべき</li> <li>・そのために、市町村の協力も必要だしそういう場をつくる団体の支援をすることも必要</li> </ul>
17		<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業をしやすい環境整備や、大手企業の中の起業を大分に持ってくるための大分県としての受け皿づくりが大切</li> <li>・アメリカのバーモント州は、そういう施策で人口が増えて就業率が上がった好例</li> </ul>
18		先端技術への挑戦
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な研究を行う産総研などの部門を大分県に持ってくるようなアピールを今のうちからやっておくことが大切</li> <li>・持ってこられれば、先端技術の活用や産業の育成はそれに引っ張られるので、裾野も広がる</li> </ul>	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館業も生産性向上のため先端技術をとと思うが、どうしていいかわからないのが現状なので、それを話せる機会や場を設けて欲しい</li> </ul>	
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人を呼び込み人を育ててという人材確保という話をした後で、人材を少なくした上で企業が成り立つかという話をするのは矛盾している</li> <li>・大分県としてどういう暮らしを子ども達に送るのかを整理する必要がある、それがないと矛盾した政策になる</li> </ul>	